

# 令和元年度 宮崎県結婚・子育て意識調査結果の概要について

こども政策課

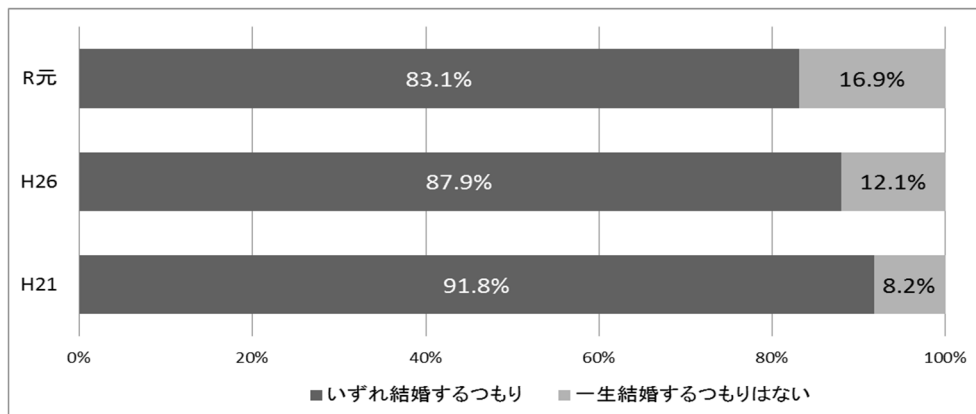
## 1 調査目的等

結婚や子育てに関する県民の意識や意見などについて、アンケート調査を実施し、今後の新たな施策や第2期子ども・子育て応援プラン策定の検討材料として活用する。

- ・ 調査時期 : 令和元年7月
- ・ 調査対象 : 県内在住の20歳～49歳の方から、3,000人を無作為に抽出
- ・ 調査方法 : 調査票を郵送
- ・ 回答者数 : 894人/3,000人 [回答率 29.8%] (前回 (H26) 25.5%)

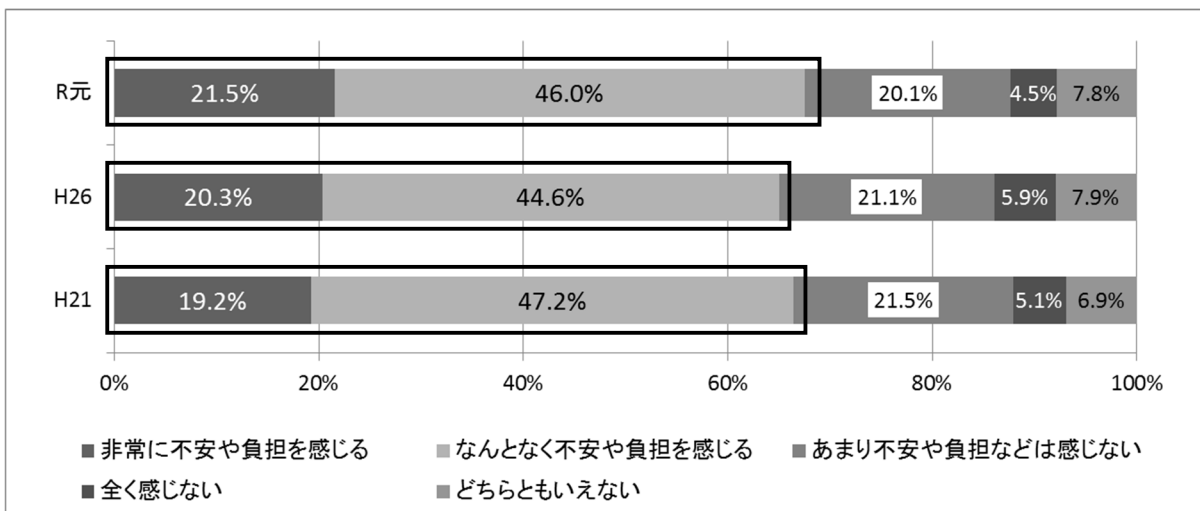
## 2 結果の概要

(1) いずれ結婚するつもりと回答した未婚者 83.1%



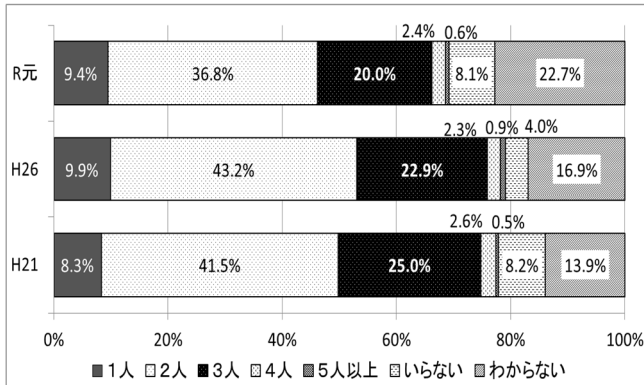
(2) 子育てに関する不安感・負担感を感じる人の割合 67.5%

※「非常に感じる」、「何となく感じる」の合計

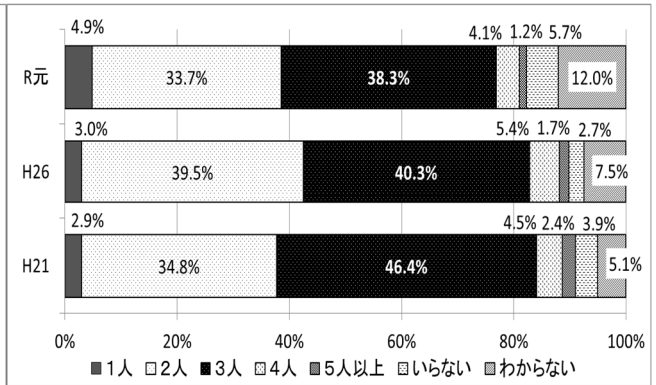


- (3) 予定している子どもの数は「2人」が最も多い 36.8%
- 理想としている子どもの数は「3人」が最も多い 38.3%

(予定子ども数)

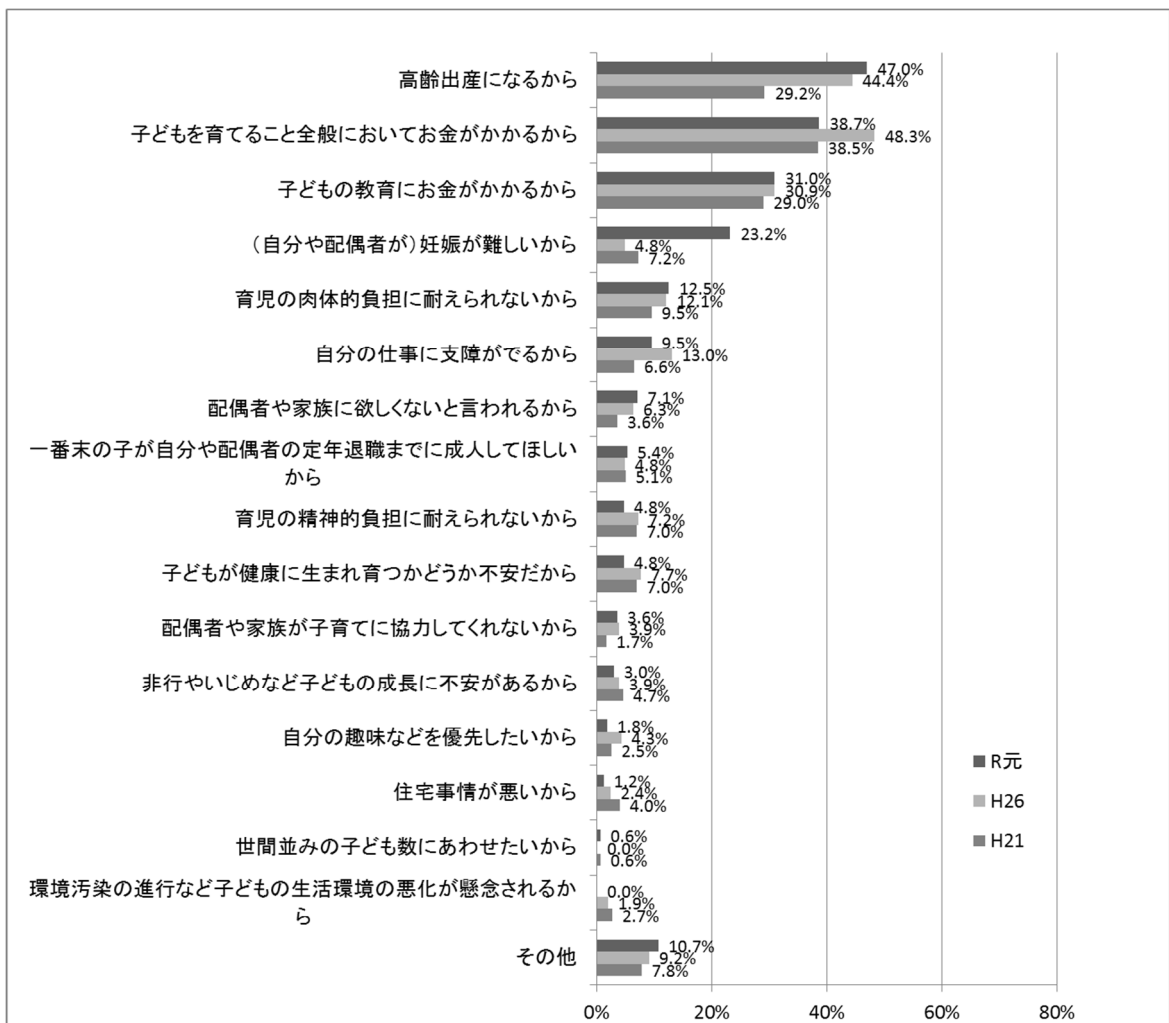


(理想子ども数)



- (4) 予定子ども数が理想子ども数よりも少ない理由

「高齢出産になるから」が最も多く 47.0%で、「子どもを育てること全般にお金がかかるから」が 38.7%で第2位となっている。



(5) 子育て環境の整備について行政に望むこと

「出産費用の援助や児童手当、扶養控除の増額など子育てのための経済的支援の拡充」が最も多く 51.7%で、「保育所・幼稚園・認定こども園などの費用負担の軽減（給食費などを含む）」が 33.9%で第2位となっている。

